

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス グランデール			
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日 ～ 令和7年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年年11月17日 ～ 令和7年11月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師、PT、音楽療法士などの専門職を配置し、専門的な意見を反映しお子さんの成長を促している。	音楽療法をプログラムに入れる事で、普段出来ない集団活動を取り入れている。リハビリ等の時間をとり社内で周知、情報共有をし、利用者様の成長発達に職員が関われる。	利用者様に支援が行き届く様に各専門職の知識を深める。
2	生活空間が清潔に保たれている。	・使用した玩具等の消毒を、その都度している ・利用者様が帰られた後に、フロア内を掃除し消毒している。 ・ベッドがある事により、フロアのスペースが使いづらくない様に荷物等の配置に気を付けている	物品の整理整頓し、掃除のみでなく常に過ごしやすい環境に整えていく。
3	バリアフリーの施設で重度の方が利用できる施設となっている。法人としては相談支援・居宅介護・生活介護・共同生活援助もおこなっており、他のサービスへの連携がスムーズに出来る様になっている。	施設にはエレベーター設置、入浴には天井走行リフトを配備し、重心の方が安心して通える施設となっている。医療ケアが必要な方のためのベッドも配置し、安全に過ごす事が出来ている。	相談事業所も同じ施設にある為、将来のことなどをイメージしながら他の事業所や学校・連携・協議をする行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動が中々出来ない。	入浴支援の需要がある為、集団活動の時間を確保するのが困難。	担当者以外のスタッフの協力も得ながら集団での活動を意識した支援をしていく。
2	支援終了後の振り返りが出来ない。	支援終了後掃除や片付け、複合型の施設の為、他の支援に入らなければならない職員もいるので、振り返りの時間を設けるのが難しい。	社内コミュニケーションツールを活用し、その日の利用者の様子を共有していく。支援終了後は難しいので、翌日余裕があるタイミングですこしずつ振り返りを行っていく。
3			